

**小淵沖縄教育研究プログラム**  
**平成19年度**  
**小淵東西センター奨学生募集要項**

**1 趣旨**

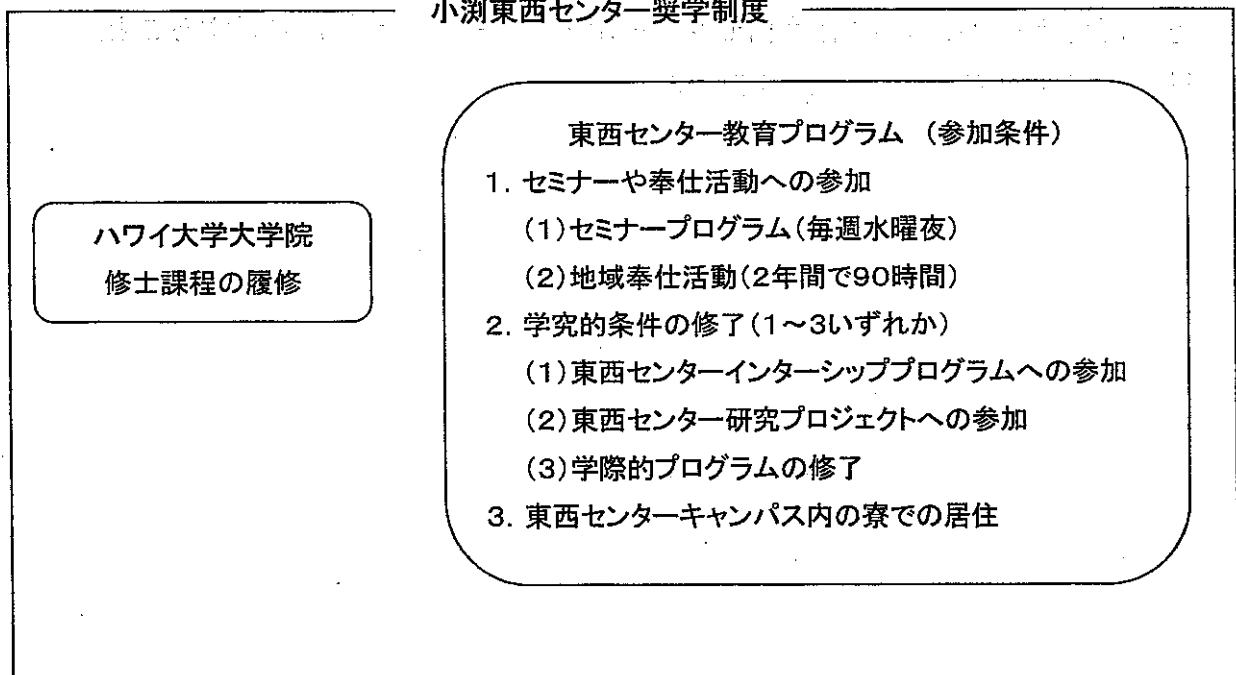
財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団（以下「財団」という。）は、沖縄県の振興を担う人材の育成を図るため、産業、経済、学術、文化、教育等の各分野において、米国の国際的教育研究機関である東西センター（ハワイ州）のプログラムを通して、ハワイ大学マノア校大学院への留学を希望する者を次のとおり募集します。

**2 概要**

- (1) 小淵東西センター奨学生は、日米政府間の協定により設立された、**沖縄の学生のための奨学制度**です。
- (2) 奨学生は、東西センターにおいて研究がなされているテーマ（アジア・太平洋地域における政治・統治と安全保障・経済・環境変化・人口と健康・教育・太平洋島嶼地域の発展等）に関連する研究分野について、ハワイ大学マノア校での修士課程の履修と併せて、東西センターの教育・研究プログラムへ参加します。
- (3) 奨学生は、東西センターに所属することによって、東西センターの学生と世界で最も活力のある地域の発展に寄与している同窓生で構成される、ネットワークの一員となることができます。
- (4) 東西センターが奨学金として、滞在費、学費、寮費等必要な経費を支給します。

\*教育プログラム内容については、東西センターの「Obuchi Student Scholarship 2007 Application and Information and Instructions」に添付の冊子「Overview of the East-West Center: Education, Research, and Seminars Programs (pp.5-10)」を参照ください。

**小淵東西センター奨学制度**



### 3 留学期間及び募集予定人数

- (1) 募集予定人数：修士課程 2人程度
- (2) 期間：修士課程 2年
- (3) 募集方法：公募

### 4 応募資格

応募資格は、次の(1)～(5)の要件をすべて満たす者とします。

- (1) 日本国籍を持ち、次のいずれかに該当する者。
  - ① 沖縄県に本籍を有する者、又はその子弟
  - ② 沖縄県に住所を有し、平成18年4月1日現在、引き続き7年以上沖縄県に居住している者又は、その子弟
  - ③ 沖縄県内の四年制大学又は大学院を卒業後、沖縄県内に就職し1年以上経過している者
- (2) 最終学歴については次の要件を満たす者  
大学卒業後又は平成19年3月末卒業見込みの者（海外の大学にあっては平成19年6月末）で、学業評定平均値（GPA）が3.0以上の者
- (3) 大学院の課程を修了後、遅滞なく沖縄県に帰還し、留学期間以上の就業義務を確実に履行することができる者
- (4) 英語能力については次の要件をすべて満たす者
  - ① TOFEL Official スコアがPBT550点/CBT213/iBT79～80点以上若しくはIELTS Official スコアが6.00点以上ある者
  - ② ハワイ大学大学院の学科要求 TOEFL 若しくは IELTS 最低基準値を満たしている者（2004年12月以降の受験スコア有効）。ただし、過去5年以内に英語圏の四年制大学を卒業した者又は卒業見込みの者は、スコア提出が免除される。
- (5) 各自の研究テーマが、東西センターで行われている研究プロジェクトに関連性があること。研究テーマについては東西センターホームページを参照に確認すること。

<http://www.eastwestcenter.org/res-pr.asp>

## 5 応募手続

応募希望者は、(1)～(3)の出願書類等を財団に提出してください。

### (1) 財団書類 (日本語)

①	申請書	証明写真 3 cm×4 cm 貼付 (応募前6ヶ月以内に撮影したもの)
②	応募承諾書	有職者のみ 別紙1参照
③	成績証明書 (日本語)	・卒業した者は、最終学校の成績証明書 ・在学中の者は、平成18年前期までの成績証明書
④	TOEFL 若しくは IELTS の Official Score の写し	・有効なスコア (2004年12月以降に受験したもの) ・ただし、過去5年以内に英語圏の四年制大学を卒業した者又は卒業見込みの者は、スコア提出を免除
⑤	住民票謄本	下記参照

\*①、②は財団ホームページ(<http://www.oihf.or.jp>)からもダウンロードできます。

### 住民票謄本について

- ・沖縄県に本籍を有する者又はその子弟の場合  
3か月以内に発行された住民票謄本 (本籍地記載のもの)
- ・沖縄県に住所を有し、平成18年4月1日現在引き続き7年以上沖縄県に居住している者又はその子弟の場合  
3か月以内に発行された住民票謄本 (本籍地記載のもの)  
県外在住者の場合は、県内に居住する父母の住民票謄本 (本籍地記載)  
\*ただし、過去7年間の居住記録があるもの
- ・沖縄県内の四年制大学又は大学院を卒業後、沖縄県内に就職し1年以上経過している者の場合  
3か月以内に発行された住民票謄本 (本籍地記載のもの)  
\*ただし、過去1年間の居住記録があるもの

### (2) 東西センター書類 (英語)

①	2007 Obuchi Student Scholarship Application	東西センター願書
②	エッセイ1: 長期目標、目的について	最長5ページ
③	エッセイ2: 経歴について 履歴書を別途添付	最長2ページ
④	エッセイ3: 異文化学習環境への適応力について	最長2ページ
⑤	エッセイ4: 関心のある東西センター研究プロジェクト若しくは 学際的プログラムについて	最長1ページ
⑥	エッセイ5: 沖縄社会への貢献について	字数制限なし

\*書類は東西センターホームページ(<http://www.eastwestcenter.org/edu-sp.asp>)からもダウンロードできます。

(3) ハワイ大学書類 (英語)

①	Graduate Admissions Application Form : 願書	
②	Graduate Program Supplemental Information Form : 願書	
③	Graduate Program Statement of Objectives Form : 研究目的	
④	Confidential Financial Statement Form for International Applicants : 財政能力証明書	私費留学希望者のみ
⑤	Application Fee : 出願料 (50ドル)	私費留学希望者のみ
⑥	履歴書	指定なし
⑦	Residency Declaration Form : 居住申告書	該当者のみ

\* 書類はハワイ大学ホームページ(<http://www.hawaii.edu/graduate/download/list.htm>)からもダウンロードできます。

応募希望者は、次の出願書類等を発行機関等から直接東西センターに提出させていただきます。

①	英文成績証明書	2通
②	推薦書	3通 所定様式
③	TOEFL 若しくは IELTS の Official Score	
④	その他試験の Official Score (例: GRE, GMAT)	該当者のみ 2007年1月14日必着
⑤	Verification of Funds for Expenses Beyond the Scholarship : 財政能力について	2007年2月14日必着

6 国内応募締め切り

平成18年11月24日(金) 17:00まで

\* 郵送の場合も、平成18年11月24日(金) 17:00までに財団必着のこと。

7 願書請求先及び提出先

財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団 留学課 留学係

〒900-0034 那覇市東町1番1号 那覇東町会館7階

電話: 098-941-6771 FAX: 098-941-6811

ホームページ: <http://www.oihf.or.jp>

\* 郵送で出願書類等を請求する場合は、返信用切手(390円分)を同封の上、財団まで請求して下さい。

8 出願書類記入上の注意

(1) 東西センター及びハワイ大学の大学院募集要項をよく読んで、出願書類を揃えてください。

(2) ハワイ大学大学院募集要項又はハワイ大学ホームページより、出願学科が要求する TOEFL 若しくは IELTS スコア最低基準点を確認し、受験した Official スコアが試験実施団体から直接東西センターに平成18年12月1日までに届くよう手配してください。

(ハワイ大学ホームページ: [www.hawaii.edu/graduatestudies/fields/html/fields.htm](http://www.hawaii.edu/graduatestudies/fields/html/fields.htm))

- (3) その他要求されている試験 (GRE, GMAT 等) については、試験実施団体から直接東西センターに平成19年1月14日までに届くように手配してください。  
(東西センターInstitution Codes : TOEFL: 4868, GRE: 4868, GMAT: 4868)
- (4) 東西センター出願書類の推薦書 (3通) については、ハワイ大学大学院出願書類の推薦書に兼ねています。ただし、出願学科から別途指示がある場合は、東西センターの推薦書に加えて、学科の指示による推薦書も準備してください。
- (5) 小渕東西センター奨学生に採用されなかった場合、自己資金でハワイ大学大学院へ留学を希望する応募者は、東西センター願書「Consideration for independent UH Admission」欄の「Yes」をチェックし、ハワイ大学大学院出願料 (50ドル) を出願書類と一緒に提出してください。出願料支払い方法: 小切手、郵便為替、ハワイ大学大学院願書中の「Application Fee Credit Card Payment Form」記入 (クレジットカード利用者)  
\*私費留学を希望しない場合、出願料は不要です。

## 9 採用決定通知

採用の可否については、ハワイ大学マノア校の入学審査合格者の中から、東西センターの選考委員の審議を経て奨学生採用の可否が決定されます。選考結果については、東西センターより応募者本人あて直接通知されます。

なお、例年、翌年4月上旬に通知されます。

## 10 誓約書の提出

小渕東西センター奨学生に採用された者は、採用通知書を受領後、保証人をたてて誓約書 (第1号様式) を財団理事長あてに指定された期日までに提出してください。

## 11 申請書等に記載された個人情報の利用について

- (1) 財団は、平成17年4月1日に施行された「沖縄県個人情報保護条例」 (平成17年3月31日条例2号) を準用し、個人情報を取り扱う際には、適正な収集・利用・管理を行います。
- (2) 採用者の氏名、性別、職業・肩書、所属先及び研究テーマ等の情報は、財団の事業実績、留学生派遣者一覧、ホームページ等において公表することがあります。
- (3) 採用者の氏名、性別、職業・肩書、所属先及び研究テーマ等の情報は、財団事業の広報のため、報道機関に提供することがあります。
- (4) 事業終了後に、採用者及び推薦者に対して、本件事業に関するフォローアップのためのアンケートをお願いすることがあります。
- (5) 申請書に記載された連絡先に、財団の他の留学派遣事業についての連絡をすることがあります。また、財団事業の各種案内を送ることがあります。

## 応募承諾書について

応募承諾書中の代表者については次のとおりです。

- 1 経済・産業団体、大学及び市町村等の職員にあつては、任命権者（雇用主、団体長、学長及び市町村長）とします。
- 2 沖縄県職員にあつては、沖縄県知事とします。
- 3 沖縄県教育庁職員、県立学校及び小中学校の教職員等にあつては、沖縄県教育委員会教育長とします。

# 参 考

## 1. GPA について

Grade Point Average の省略。成績証明書の学業成績を平均点で換算した値のこと。GPA の計算方式は、下記の GPA 換算表に基づいて算出する。

GPA 換算表

4 段階評価	5 段階評価	換算値
優 (80~100点)	A (90~100点)	4 ポイント
良 (70~79点)	B (80~89点)	3 ポイント
可 (60~69点)	C (70~79点)	2 ポイント
	D (60~69点)	1 ポイント
不可 (0~59点)	F (0~59点)	0 ポイント

成績の平均点 (Grade Point Average/GPA) は次のように換算します。

$$\text{GPA} = \frac{(\text{ポイント換算値} \times \text{単位数}) \text{の合計}}{\text{総単位数 (全科目の単位の合計)}}$$

例)

(科目) (成績) → (4 ポイント制へ換算) (単位数) (ポイント計)

英語 優 又は A → 4 × 4 = 16

化学 良 又は B → 3 × 2 = 6

歴史 可 又は C → 2 × 4 = 8

計 10 30

$$\text{GPA} = \frac{30}{10} = 3.0$$

## 2. TOEFL について

**TOEFL (Test of English as a Foreign Language)** とは、英語を母国語としない者が米国、カナダ、英国、オーストラリア等の大学等に入学するための英語力を証明する試験です。2006年7月現在、インターネット版テスト (TOEFL iBT) への移行期間につき、iBT、CBT (コンピュータ版)、PBT (ペーパー版) の3形式が行われています。試験に関する詳細や申込については、下記ウェブサイトを頻繁に確認して下さい。

TOEFL テスト公式ウェブサイト : <http://www.ets.org/toefl>

CIEE ウェブサイト : <http://www.cieej.or.jp/toefl/index.html>

アール・プロメトリック : <http://ac.prometric-jp.com/toefl/jp/index.html>

## 3. IELTS について

**IELTS (International English Language Testing System)** とは、英国、オーストラリア、ニュージーランド、北米の大学が認定している英語力を証明する試験です。現在 (2006年7月)、東京、名古屋、大阪、広島、福岡、札幌で受験することができます。

IELTS 公式ウェブサイト : <http://www.ielts.org/>

ブリティッシュ・カウンシル :

<http://www.britishcouncil.org/jp/japan-exams-ielts.htm>

## 4. GRE について

**GRE (Graduate Record Examinations)** とは、一般に北米の大学院で入学審査に用いられる分析力や知識を問う試験です。試験は、コンピュータ試験 (CBT) で行われ、沖縄での実施はありませんが、東京・横浜・大阪で毎日実施しています。

アール・プロメトリック : <http://www.prometric-jp.com/>

GRE 公式ウェブサイト : <http://www.gre.org/>

## 5. GMAT について

**GMAT (The Graduate Management Admission Test)** は一般に北米の大学院特にビジネス分野を選考する際の入学審査に用いられる試験です。試験は、コンピュータ試験 (CBT) で行われ、沖縄でも実施しています。

公式ウェブサイト : <http://www.mba.com/mba/TaketheGMA>